住めば愉快だ宇都宮 UTSUNOMIYA
宇都宮市 Utsunomiya City

資料2

【報告事項】「第3次宇都宮市食料・農業・農村基本計画」の進捗評価について

【趣旨】

「第3次宇都宮市食料・農業・農村基本計画」に掲げる指標について，現在の達成状況及び今後の取組の方向性を協議するもの

1 「第3次宇都宮市食料・農業・農村基本計画」について（概要）

宇都宮市 Utsunomiya City

⑴ 目的

本市の農業が「食」と「農」を取り巻く環境変化に的確に対応し，本市に備わる豊かな農資源と地理的優位性を活かしながら持続的に営まれ，また，市民に安全・安心で高品質な農産物を安定的に供給できる価値の高い産業として発展できるよう，総合的・計画的に施策を推進するため本市農業行政の基本方針として策定

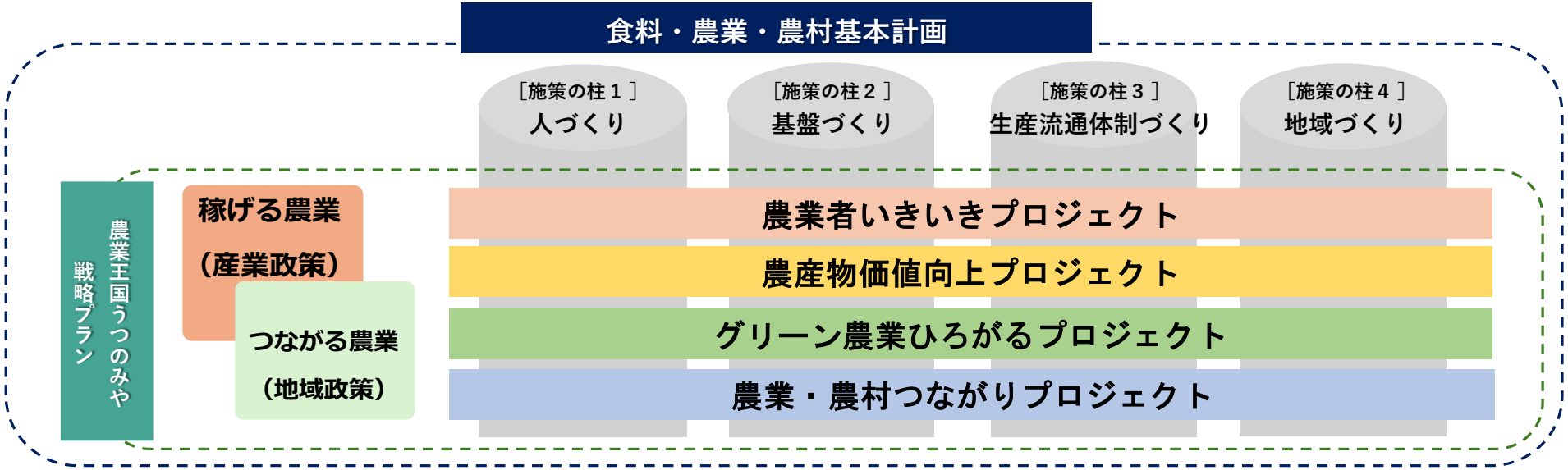
⑵ 計画期間

令和6年度から令和15年度までの10年間（必要に応じて，中間見直しを行う。）

⑶ 計画の体系

「稼げる農業」と「つながる農業」の実現に向け，関連性の高い施策事業を選定し，「農業王国うつのみや戦略プラン」に，横断的に取り組む4つのプロジェクトを位置付け，重点的に取組を進めるとともに，「人づくり」・「基盤づくり」・「生産流通体制づくり」・「地域づくり」を施策の柱として，基本施策を展開していく。

▼「第3次宇都宮市食料・農業・農村基本計画」施策体系



2　評価方法等について

宇都宮市 Utsunomiya City

⑴ 評価方法について

・ 第3次宇都宮市食料・農業・農村基本計画の令和7年度における施策・事業の進捗状況について評価
・ プロジェクトと4つの施策の柱において，設定している成果指標及び活動指標について評価を行うとともに，施策・事業の取組状況により，計画全体の評価を行う。
※ 成果指標：各施策が設定する「目指す姿（状態）」を数値化したもので，毎年度の進捗を評価するもの
※ 活動指標：「目指す姿（状態）」を達成するために中核となる取組で，毎年度，達成状況を評価するもの

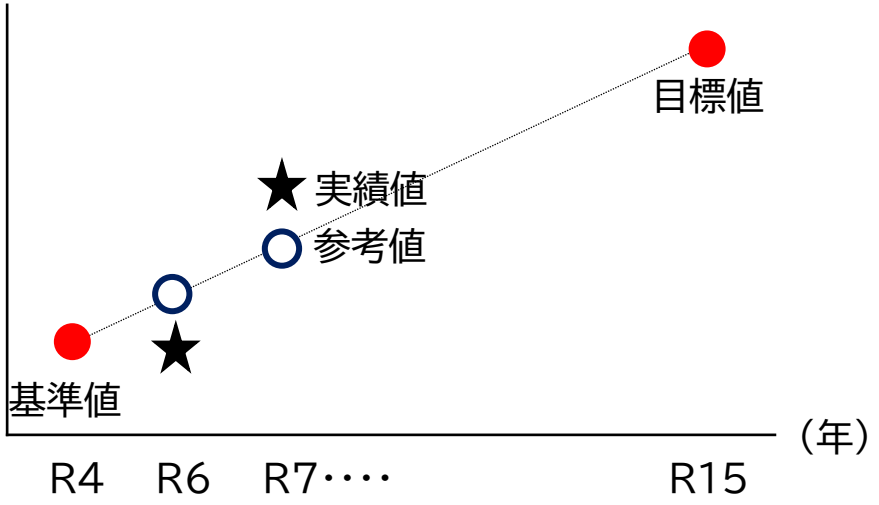
⑵ 成果指標の評価について

・ 評価対象年度の「実績値」と「参考値」を比較し，その達成度に応じて「A～C」で評価する。

評価	A	B	C
達成度 （評価基準）	１００％以上	７０％以上 １００％未満	７０％未満

※ A～Cの達成度は，宇都宮市総合計画の評価基準（事業評価）を準用

※参考値：「基準値」と「目標値」を直線で結んだ各年度の値



2　評価方法等について

宇都宮市 Utsunomiya City

⑶ 活動指標の評価について

・ 評価対象年度の「実績値」と「目標値」を比較し，「目標達成」，「目標未達」で評価する。

※活動指標の評価のイメージ

指標	各年度の目標	R7の実績
新規の地産地消推進店獲得数	１０店舗以上	１０店舗／目達 ８店舗／未達

⑷ 総合評価について

・ 成果指標，活動指標の2つの指標をもとに100点満点で点数化し，総合評価を導出

※ 宇都宮市総合計画の評価基準（事業評価）を準用

配点	５０点	４０点	３０点
成果指標の達成度	全てA以上	全てB以上	Cが一つでもある
活動指標の達成度	全て目標達成	未達が１以下	未達が２以上

総合評価	順調 ９０点以上	概ね順調 ７０点以上９０点未満	やや遅れ ７０点未満

3　評価結果（全体総括）

宇都宮市 Utsunomiya City

■　施策の柱

施策の柱	評価
人づくり	順調
基盤づくり	概ね順調
生産流通体制づくり	概ね順調
地域づくり	概ね順調

■　戦略プロジェクト

施策の柱	評価
農業者いきいきプロジェクト	B
農産物付加価値向上プロジェクト	B
グリーン農業ひろがるプロジェクト	B
農業・農村つながりプロジェクト	B

令和7年度については，4つの施策の柱において，担い手の確保，農地の集積・集約，スマート農業やグリーン農業の推進，農村地域の維持・活性化など，各分野で取組を進めた結果，全て，「概ね順調」以上となり一定の進捗が見られた。

一方で，認定農業者数，遊休農地面積，宇都宮産農産物を選択する市民の割合など，一部の成果指標では目標値を下回っており，取組の実施が十分な成果に結び付いていない状況も見られる。

また，戦略プロジェクトについては，いずれも「B評価」となっており，「稼げる農業」と「つながる農業」の実現に向けては，取組の継続に加え，より効果の高い施策の重点化が必要である。

今後は，低調な指標の要因を分析し，担い手確保，農地の受け皿づくり，流通・消費の促進，地域営農体制の強化に重点的に取り組むことで，計画目標の達成に向けた施策の実効性を高めていく。

4　農業王国うつのみや戦略プラン

宇都宮市 Utsunomiya City

プロジェクトごと実績・評価

【評価基準】A：達成率100%以上，　B：達成率70～100%未満，C：達成率70%未満

農業者いきいきプロジェクト		R4（基準値）	R6（計画開始年度）	R7	R15（目標値）
農業所得1,000万円以上の認定農業者数（経営体）	年度目標	―	134	**139**	175
	実績	125	117	**125**	―
	評価	―	B	**B**	―
農産物付加価値向上プロジェクト		**R4（基準値）**	**R6（計画開始年度）**	**R7**	**R15（目標値）**
販路拡大・付加価値向上に意欲的に取り組む農業者（人）（アグリネットワーク会員のうちの農業者数）（人）	年度目標	―	156	**166**	250
	実績	135	147	**150**	―
	評価	―	B	**B**	―
グリーン農業ひろがるプロジェクト		**R4（基準値）**	**R6（計画開始年度）**	**R7**	**R15目標値）**
環境に配慮した農産物を選択したいと思う市民の割合（%）	年度目標	―	89	**90**	100
	実績	86.9	86.2	**86.3**	―
	評価	―	B	**B**	―
農業・農村つながりプロジェクト		**R4（基準値）**	**R6（計画開始年度）**	**R7**	**R15（目標値）**
宇都宮の農業を大切にしたいと思う市民の割合（%）	年度目標	―	94	**94.8**	100
	実績	92.7	90.3	**89.7**	―
	評価	―	B	**B**	―

5　施策の柱1　人づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

■目指す姿

- ✓ 新規就農者の確保・育成が図られ，若い世代の農業者が活躍しています。
- ✓ 生産効率向上による担い手の経営規模拡大が図られています。
- ✓ 企業参入や集落営農組織の法人化等により，大規模な担い手が確保されています。
- ✓ 女性が能力を発揮しながら農業経営に関わり，活躍しています。
- ✓ 小規模な農家が，“農地の守り手・支え手”としていきいきと農業に携わっています。

■基本施策と主な事業

（1） 新規就農者の確保・育成

・新規就農の促進　・経営能力の高い新規就農者の育成　・経営継承の促進

（2） 大規模な担い手の確保・育成

・地域営農の維持・活性化　・担い手の経営力の向上　・企業参入の推進

（3） 多様な農業人材の確保

・引き受け手のない農地の新たな担い手の確保　・守り手・支え手の確保・育成　・農業分野における女性の活躍支援

5　施策の柱1　人づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

■成果指標

		R4（基準値）	R6（初年度）	R7（評価年度）	R15（目標値）	実態
認定新規就農者数（経営体）	年度目標	ー	15	15	15	目標値を下回っているためB評価となっているものの，目標に近い水準は確保されている。
	実績	17	17	14	ー	
	評価	ー	A	B	ー	
認定農業者数（経営体）	年度目標	ー	766	766	770	B評価ではあるものの，目標値，前年度と比較し両面で下回っている状況となっている。
	実績	773	773	756	ー	
	評価	ー	A	B	ー	
認定農業者のうち法人数（企業含む）（経営体）	年度目標	ー	71	74	100	A評価となっており，順調に進捗している。
	実績	65	80	82	ー	
	評価	ー	A	A	ー	
農地の守り手・支え手数（経営体）	年度目標	ー	330	343	450	A評価となっており，順調に進捗している。
	実績	303	340	347	ー	
	評価	ー	A	A	ー	

■活動指標

	目標値	R6（参考）	R7	評価
就農支援事業につなげた相談件数	年間10名程度	13	18	達成
人・農地プラン登載者（中心経営体）への認定取得促進件数（地域計画登載者における認定農業者取得促進件数）	年間20経営体程度	18	36	達成
企業参入相談支援件数	年間5経営体程度	5	8	達成
人・農地プラン登載に向けた守り手・支え手制度の周知回数（地域計画登載に向けた守り手・支えて制度の周知回数）	年間20地区 ※制度変更に伴い対象が21地区から20地区へ変更	20	20	達成

5　施策の柱1　人づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

■総合評価

	配点	評価
成果指標の達成度	全てB以上　40点	順調
活動指標の達成度	全て目標達成　50点	
総合評価点	90点	

■　問題・課題

成果指標では，新規就農者数，認定農業者数はいずれも目標値を下回っており，地域農業を担う中核的な人材の確保・育成が十分に進んでいない。活動指標は，全て目標を達成しており順調に進捗している。

これは，農業者の高齢化に伴う認定農業者の更新減少が要因と考えられることから，新規就農者の確保，認定農業者の維持・育成，法人化・組織化，多様な人材確保等への対応が必要である。

■　今後の対応

今年度は，新規就農者の確保に向け，女性や若年層などに対し幅広く本市農業の魅力発信を強化するため，「じぶん×未来フェア」への出展や移住定住事業と連携したPRに取り組む。

また，就農希望者に対する相談から定着までの伴走支援を充実させるほか，認定農業者の更新・新規認定の促進や，経営力向上支援を通じた法人化・組織化を重点的に進める。

あわせて，地域会合等を活用し，守り手・支え手制度の周知を強化するとともにスポットワーク等の取組も含め，地域農業を支える多様な人材の確保につなげていく。

5　施策の柱1　人づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

基本施策ごと主な事業の取組状況（令和7年度実績ベース）

【成】・・・成果指標　【活】・・・活動指標

① 新規就農者の確保・育成

● イベント等での就農相談の実施，新規就農希望者への技術習得支援

⇒ 【成】認定新規就農者数：14経営体※

※いちご9名，水稲3名，ねぎ1名，トマト1名

⇒ 新・農業人フェアへの出展：9/15,11/23

⇒ 先進農家での研修生：3名

● セミナーの開催による新規就農者等の経営力向上　**農業者いきいきＰＪ**

⇒ 新規就農者向けのセミナー：全7回，受講者11名

5　施策の柱1　人づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

基本施策ごと主な事業の取組状況（令和7年度実績ベース）

【成】・・・成果指標　【活】・・・活動指標

② 大規模な担い手の確保・育成

● 「農業経営改善計画」の作成支援による担い手の確保

⇒ 【成】認定農業者数：756経営体

⇒ 【活】地域計画登載者への認定取得促進件数：新規認定36件

農業者いきいきＰＪ

● セミナーの開催による認定農業者等の経営力向上

⇒ 認定農業者向けのセミナー：全5回，受講者6名

● 企業誘致の支援

⇒ 【活】企業参入相談支援件数：8件

⇒ 企業対象エリアの抽出：5エリア

⇒ 企業参入決定：1社

⇒ 既参入企業の規模拡大等支援：1社

5　施策の柱1　人づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

基本施策ごと主な事業の取組状況（令和7年度実績ベース）

【成】・・・成果指標　【活】・・・活動指標

③　多様な農業人材の確保

農業・農村つながりＰＪ

● 地域計画における守り手・支え手の確保に向けた周知

⇒ 【成】守り手・支え手数 ：347経営体

⇒ 【活】地域計画登載に向けた守り手・支え手制度の周知回数 ：20回（20地区）

● 農業に関わる女性活躍の促進

⇒ 女性の先進農家での研修生：1名（男性の先進農家での研修生：2名）

⇒ 女性の新規就農者：23経営体（うち女性：6経営体）

⇒ R7～：男女ともに快適に使用できるトイレの導入費用助成　1件

● 多様な農業人材の確保

⇒ JA等と連携した周知を実施，推進に係る課題の整理

6　施策の柱2　基盤づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

■目指す姿

✓ 整備済みのほ場が担い手に集積・集約化されています。
✓ 新たな農地の引き受け手や守り手・支え手により，耕作条件の悪い農地が管理されています。
✓ 効率性の高い生産基盤で，農作物が生産されています。

■基本施策と主な事業

（1） 農地利用の効率化
・農地の大区画化の促進　・農地の集約化・集積の促進

（2） 農地等の適正管理
・遊休農地の解消・未然防止　・水利施設等の適正管理・計画的な保全

（3）農地の維持
・引き受け手のない農地の新たな担い手の確保[再掲]　・守り手・支え手の確保・育成[再掲]

6 施策の柱2 基盤づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

■成果指標

		R4（基準値）	R6（初年度）	R7（評価年度）	R15（目標値）	実態
大区画化の整備率(%)	年度目標	―	22	22.3	25	目標値を下回っているためB評価となっているものの，前年度と比較しても増加傾向となっており目標に近い水準は確保されている。
	実績	21.2	21.7	21.9	―	
	評価	―	B	B	―	
担い手等への農地集積率(%)	年度目標	―	64	65.8	80	目標値を下回っているためB評価となっているものの，前年度と比較しても増加傾向となっており目標に近い水準は確保されている。
	実績	59.9	63.8	65.7	―	
	評価	―	B	B	―	
遊休農地面積(ha)	年度目標	―	55	54.6	51	目標値，前年度比でも大きく下回っている状況となっている。
	実績	56	59.8	88.4	―	
	評価	―	B	C	―	
農地の守り手・支え手数(経営体)［再掲］	年度目標	―	330	343	450	A評価となっており，順調に進捗している。
	実績	303	340	347	―	
	評価	―	A	A	―	

■活動指標

	目標値	R6(参考)	R7	評価
水田の再整備に向けた相談支援件数	年間1地区	6	9	達成
新たに農地の利用権設定を行った面積	年間100ha	94ha	180. 5ha	達成
遊休農地解消に向けた個別訪問件数	全ての遊休農地所有者(市内在住)	全件	全件	達成
(再掲)人・農地プラン登載に向けた守り手・支え手制度の周知回数	年間20地区	20	20	達成

6 施策の柱2 基盤づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

■総合評価

	配点	評価
成果指標の達成度	Cが一つでもある 30点	概ね順調
活動指標の達成度	全て目標達成 50点	
総合評価	80点	

■ 問題・課題

成果指標では，大区画化の整備率や担い手等への農地集積率は上昇しているものの目標値を下回っているが，現在，実施している土地改良事業が完了することで増加する見込みが立っている。

一方，遊休農地面積は，農業者の高齢化や農業者数の減少等により増加傾向にある。

活動指標では，活動指標は，全て目標を達成しており順調に進捗している。

遊休農地面積は，農地情報の見える化，農地集積・集約化に関する取組を推進しているものの，これら事業を上回るスピードで遊休農地が拡大していることが要因と考えられることから，「引き受け手のいない受け皿組織」の具体化等が急務となる。

■ 今後の対応

今年度は，地域計画の更新に合わせ，担い手への農地の集積・集約化を進めるとともに，県営経営体育成基盤整備事業や市水田大区画化等整備事業補助金などの活用促進に向け，地域会合などでのPRを強化するなど，地域の状況に応じた具体的な働きかけを行う。

また，引き受け手のいない農地については，市，JA，農業公社による受け皿組織の検討を具体化し，遊休農地の解消・未然防止に重点的に取り組む。

6　施策の柱2　基盤づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

基本施策ごと主な事業の取組状況（令和7年度実績ベース）

【成】・・・成果指標　【活】・・・活動指標

① 農地利用の効率化

● 農地の流動化の促進

⇒ 遊休農地等の貸出希望農地情報を市ホームページ（宇都宮まちかど情報マップ）にて公表
新規就農者，経営規模拡大意向の農業者，農業参入企業等の就農・定着に向けた農地のマッチング支援
141筆，約15．4ha

● 農地中間管理機構等を活用した農地集積の促進

⇒ 【活】新たに農地の利用権設定を行った面積：180．5ha

● 水田の再整備に向けた支援　**農業者いきいきＰＪ**

⇒ 【活】市単独補助による水田の大区画化の相談件数：9件
活用実績：4件　3．7ha

6　施策の柱2　基盤づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

基本施策ごと主な事業の取組状況（令和7年度実績ベース）

【成】・・・成果指標　【活】・・・活動指標

② 農地・農業用施設等の適正管理

● 関係機関と連携した遊休農地の解消・未然防止

⇒ 【成】遊休農地面積：88．4ha（新規発生面積　30．8ha，解消面積　2．2ha）

［再掲］遊休農地等の貸出希望農地情報を市ホームページ（宇都宮まちかど情報マップ）にて公表

新規就農者，経営規模拡大意向の農業者，農業参入企業等の就農・定着に向けた農地のマッチング支援

141筆，約15．4ha

【活】遊休農地解消に向けた個別訪問件数：対象全件

● ため池の計画的な保全

⇒・ため池の改修，付帯設備の整備に向けた実施計画の策定：5か所

（栗谷沢ダム，打越溜，境ノ内溜（上），境ノ内溜（下），叶ため池）

・ため池の改修，付帯設備の整備に向けた詳細設計の実施：5か所

（山口溜（上），山口溜（下），初網溜（上），初網溜（下），大石神溜）

6　施策の柱2　基盤づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

基本施策ごと主な事業の取組状況（令和7年度実績ベース）

【成】・・・成果指標　【活】・・・活動指標

③　農地の維持

● 地域計画における守り手・支え手の確保に向けた周知　**農業・農村つながりＰＪ**

⇒ 【成】守り手・支え手数：347経営体

［再掲］【活】地域計画登載に向けた守り手・支え手制度の周知回数：20回（20地区）

● 引き受け手のいない農地の受け皿組織の検討

⇒ （R7～市・JAうつのみや・農業公社による検討チームの設立）

7　施策の柱3　生産流通体制づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

■目指す姿

（作物生産）

✓ 市場ニーズ・需要に合わせた作物への作付転換が図られています。
✓ 生産効率の高い農業生産の取組が定着しています。
✓ 環境に配慮した農業生産の取組が拡大しています。

（販路・消費）

✓ 多様な販路の中から，経営方針等に基づいた販路が選択されています。
✓ 多くの消費者が，宇都宮産農産物を積極的に購入しています。
✓ 環境に配慮した消費行動を選択する市民が増加しています。

■基本施策と主な事業

（1） マーケティングの強化

・市場ニーズの把握　・宇都宮産農産物の認知度やブランド力の上に向けた市場を意識した効果的なPR

（2） 市場ニーズを踏まえた生産から販売環境の充実

・経営方針に応じた販路の確保　・新たな付加価値の創出（ブランド化・6次化）
・麦・大豆や露地野菜等への作付転換の促進

（3）生産性向上に資する農業技術の普及

・農業DX・スマート農業技術の導入促進　・グリーン農業技術の普及促進

（4）地産地消の推進≪地産地消推進計画≫

・宇都宮産農産物の利用促進　・食育の推進（家庭・学校等）[都市農業]　・グリーン農業の理解促進

7　施策の柱3　生産流通体制づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

■成果指標

		R4（基準値）	R6（初年度）	R7（評価年度）	R15（目標値）	実態
水田における畑作物※の作付面積（ha） ※麦，大豆，そば，露地野菜	年度目標	―	1,040	1,058	1,200	B評価ではあるものの，目標値，前年度と比較し両面で下回っている状況となっている。
	実績	1,005	1,060	1,048	―	
	評価	―	A	B	―	
スマート農業機器の導入件数（件）	年度目標	―	217	226	300	A評価となっており，順調に進捗している。
	実績	198	215	233	―	
	評価	―	B	A	―	
県グリーン農業推進方針に基づく取組の計画認定数（計画）	年度目標	―	140	210	770	A評価となっており，順調に進捗している。
	実績	―	316	404	―	
	評価	―	A	A	―	
宇都宮産農産物を選択する市民の割合（%）	年度目標	―	87	88	100	B評価ではあるものの，目標値，前年度と比較し両面で下回っている状況となっている。
	実績	84.7	82.4	79.8	―	
	評価	―	B	B	―	

■活動指標

	目標値	R6（参考）	R7	評価
転作に関する情報提供回数	年間20地区	20	20	達成
スマート農業研修会開催数	年間2回程度	4	3	達成
グリーン農業研修会等開催数	年間2回程度	4	3	達成
地産地消推進店	年間10店舗	10	7	未達

7　施策の柱3　生産流通体制づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

■総合評価

	配点	評価
成果指標の達成度	全てB以上　40点	概ね順調
活動指標の達成度	未達が1以下　40点	
総合評価	80点	

■問題・課題

成果指標では，スマート農業機器の導入件数やグリーン農業に係る計画認定数は目標値を上回っている一方，水田における畑作物の作付面積や，宇都宮産農産物を選択する市民の割合は目標値を下回っている。

活動指標では，転作に関する情報提供やスマート農業，グリーン農業の研修会等は目標を達成しているものの，地産地消推進店の獲得は未達となっている。

これは，主食用米価格の高騰により転作作物の作付が伸び悩んだことや，価格を重視する消費者行動により地産地消の意識が購買行動に十分結び付いていないことが要因と考えられることから，市場ニーズを踏まえた作付転換，販売環境の充実，市民が選択しやすい地産地消の仕組みづくり等への対応が必要である。

■　今後の対応

今年度は，転作に関する情報提供を強化し，地域の営農状況や市場ニーズを踏まえた作付転換を促進する。また，スマート農業やグリーン農業については，導入・認定の拡大にとどまらず，省力化，低コスト化，環境負荷低減など経営改善につながる取組として定着を図る。地産地消については，若年層や子育て世帯を重点対象とし，マルシェ，キャンペーン，地産地消推進店との連携を通じて，価格や利便性も含め，市民が宇都宮産農産物を選択しやすい環境づくりを進める。

7　施策の柱3　生産流通体制づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

基本施策ごと主な事業の取組状況（令和7年度実績ベース）

【成】・・・成果指標　【活】・・・活動指標

① マーケティングの強化

● ブランド農産物のPR　**農産物価値向上ＰＪ**

⇒ 生産者や他の分野と連携したPRを実施
（新里ねぎ生産組合と連携した全国ねぎサミットでのPR，宇都宮ジャズクルージングでのユリのPR）

⇒ 友好都市等における宇都宮産農産物の認知度及び販路拡大に向けたプロモーションの実施
（友好都市「うるま市」での農産物（梨）のPR・販売，災害時相互応援協定を締結した渋谷区での農産物（いちご・米）のPR・販売）

⇒ 米消費拡大事業の実施

	はじめてごはん	げんきにごはん（小1・中1）
令和4年度	3,527箱	9,497箱 （小学生4,626箱中学生4,871箱）
令和5年度	3,298箱	9,282箱 （小学生4,427箱中学生4,858箱）
令和6年度	3,187箱	8,913箱 （小学生4,176箱中学生4,737箱）
令和7年度	3,040箱	8,859箱 （小学生4,079箱中学生4,780箱）

7　施策の柱3　生産流通体制づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

基本施策ごと主な事業の取組状況（令和7年度実績ベース）

【成】・・・成果指標　【活】・・・活動指標

② 市場ニーズを踏まえた生産から販売環境の充実

● 主食用米から麦や露地野菜等への作付転換　**農業者いきいきＰＪ**

⇒ 【活】転作に関する情報提供回数：20地区

⇒ 営農計画書の配布等の機会を捉えた周知：年3回

● 産直ECサイト（オンライン販売）を活用した宇都宮産農産物の販路拡大に向けた支援　**農産物価値向上ＰＪ**

⇒ 産直ECサイトに登録した農業者数：7名（うち，販路構築（販売）まで至ったケース：約30%）

⇒ 送料800円OFFキャンペーンによる支援の実施（第1弾：8/20～9/11，第2弾：12/15～1/30）

⇒ PR活動における産直ECサイト購入促進に向けたチラシの配布

● 6次化の支援　**農産物価値向上ＰＪ**

⇒ 「アグリビジネス創出促進事業」の採択件数：3件

● 安全・安心の見える化に向けたGAPの取組促進

⇒ 専門家によるGAP講習会の開催（1/19）

7　施策の柱3　生産流通体制づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

基本施策ごと主な事業の取組状況（令和7年度実績ベース）

【成】・・・成果指標　【活】・・・活動指標

③ 生産性向上に資する農業技術の普及

【活】スマート・グリーン農業研修会における周知回数：3回（7/4.7/24.1/23）

● 関係機関と連携したスマート農業の拡大　**農業者いきいきＰＪ**

⇒ いちごの自動農薬散布機の開発

4月　補助事業の創設，6月20日とちあいか栽培講習会で機械のPR,アンケート実施

⇒ AI等活用した営農支援システムを活用できるスマート農業機械の普及促進

JA主催の研修会に参加 3回　　土地利用型農業生産施設等整備事業補助金支援件数　2件

● 環境負荷低減に資する技術の普及　**グリーン農業ひろがるＰＪ**

⇒ 【成】「グリーン農業推進方針」に基づく取組の計画認定数：

R7：404件（個人：17件，団体：13団体387件

⇒ 低コスト施肥実証栽培の実施

加工用にんじん，水稲，スイートコーン，かんしょにおいて化学肥料の一部を堆肥に置き換え

⇒ もみ殻くん炭実証栽培の実施

小麦においてもみ殻くん炭を施用し，実証栽培

⇒ 生分解性マルチ，多年張被覆資材の普及促進

R7：26件（生分解性マルチ18件　多年張被覆資材8件）

7　施策の柱3　生産流通体制づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

基本施策ごと主な事業の取組状況（令和7年度実績ベース）

【成】・・・成果指標　【活】・・・活動指標

④　地産地消の推進

● 地産地消推進店の加入促進による手に入れやすい環境の整備

⇒ 【活】地産地消推進店数：169件（新規7件，辞退14件）
　採れたてうつのみやまるかじりキャンペーンの実施（11/1～12/26）

⇒ うつのみや地産地消マルシェの開催（3/1開催，出店者14者参加）

● グリーン農業の理解促進に向けたイベントの開催　**グリーン農業ひろがるＰＪ**

⇒ うつのみやグリーンマルシェの開催（10/19開催，出展事業者21者参加）

8　施策の柱4　地域づくり

■目指す姿
- ✓ 多面的機能支払交付金活動組織が広域協定に加入し，各組織において活発な活動が行われ，活動面積が拡大しています。
- ✓ 地域活動の活性化による良好な農村環境が保全されています。
- ✓ 地域に合った農の多面的機能が発揮されています。

■基本施策と主な事業

（1） 地域農業体制づくりの推進
・地域計画の推進

（2） 農地・農村環境の保全
・多面的機能保全活動の維持・拡大　・都市農地の適切な保全[都市農業]

（3） 防災・減災力の強化
・水利施設等の適正管理・計画的な保全[再掲]　・田んぼダムの維持管理

（4） 農業・農村の魅力発信
・都市農村交流活動の支援[都市農業]　・グリーンツーリズムの推進　・イベント等を通じた情報発信・PR

8　施策の柱4　地域づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

■成果指標

		R4（基準値）	R6（初年度）	R7（評価年度）	R15（目標値）	実態
集落営農組織数（組織）	年度目標	―	33	34	40	B評価ではあるものの，目標値は下回っている状況となっている。
	実績	31	29	29	―	
	評価	―	B	B	―	
農用地区域における環境保全活動カバー率（%）	年度目標	―	40	40.7	46	B評価ではあるものの，目標値，前年度と比較し両面で下回っている状況となっている。
	実績	38.6	39.6	39.0	―	
	評価	―	B	B	―	
むらづくり活動地域数（地区）	年度目標	―	15	15	15	A評価となっており，順調に進捗している。
	実績	15	15	15	―	
	評価	―	A	A	―	

■活動指標

	目標値	R6（参考）	R7	評価
営農組織化に向けた地域説明会開催数	年間20地区	20	20	達成
多面的機能保全活動組織数	年間1組織の増	64	64	未達
SNS等での地域活動の情報発信数	年間15回	20	22	達成

8　施策の柱4　地域づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

■総合評価

	配点	評価
成果指標の達成度	全てB以上　40点	概ね順調
活動指標の達成度	未達が1以下　40点	
総合評価	80点	

■　問題・課題

成果指標では，むらづくり活動地域数は目標値を達成している一方，集落営農組織数や農用地区域における環境保全活動カバー率は目標値を下回っており，地域営農体制の強化や農村環境保全活動の拡大が十分に進んでいない。

活動指標では，「多面的機能保全活動組織数」が1増1減のため，増加には至らなかった。

これは，地域の担い手不足や，多面的機能保全活動に係る事務負担の増加等が要因と考えられることから，地域計画を契機とした話し合いの充実，集落営農の組織化，多面的機能保全活動の継続体制づくり等への対応が必要である。

■　今後の対応

今年度は，地域計画の更新を契機として，地域会合等を活用し，集落営農の組織化に向けた説明や働きかけを強化するとともに，多面的機能保全活動については，広域化による事務軽減等のメリット周知を進め，活動組織が農村環境の保全に注力できる体制づくりを図る。あわせて，クマやイノシシなどの鳥獣被害や防災・減災への対応を進め，農村地域の維持・活性化につなげていく。

8　施策の柱4　地域づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

基本施策ごと主な事業の取組状況（令和7年度実績ベース）

【成】・・・成果指標　【活】・・・活動指標

① 地域営農体制づくりの推進

● 地域計画の策定（令和7年3月策定）

⇒ 地域計画策定に向けた地域会合（20地区）の開催 （8月，2月）
地区市民センター等での地域計画案の閲覧（12月～）

⇒ 【活】集落営農の組織化に向けた地域説明会開催数：11回）

② 農地・農村環境の保全

● 多面的機能保全活動組織の広域化の促進　農業・農村つながりＰＪ

⇒ 広域協定を締結した組織数 ：25組織

● 多面的機能保全活動組織の拡大　農業・農村つながりＰＪ

⇒ 【活】多面的機能保全活動組織数：64組織

● 農産物被害の減少に向けた有害鳥獣への対応

⇒ わなの購入補助：7件，防護柵設置補助：11件
鳥獣捕獲頭数：673頭（猪：203頭，鹿：29頭，ハクビシン等中型捕獲獣：441頭

⇒ 宇都宮市緊急銃猟実施マニュアルの策定（令和8年3月策定）

8　施策の柱4　地域づくり

宇都宮市 Utsunomiya City

基本施策ごと主な事業の取組状況（令和7年度実績ベース）

【成】・・・成果指標　【活】・・・活動指標

③　防災・減災力の強化

● ため池の計画的な保全

⇒ ［再掲］

・ため池の改修，付帯設備の整備に向けた実施計画の策定：5か所
（栗谷沢ダム，打越溜，境ノ内溜（上），境ノ内溜（下），叶ため池）

・ため池の改修，付帯設備の整備に向けた詳細設計の実施：5か所
（山口溜（上），山口溜（下），初網溜（上），初網溜（下），大石神溜）

● 田んぼダムの維持管理体制の構築

⇒ 実施支援員（5土地改良区，15地区）による排水調整マスの設置状況の確認

④　農業・農村の魅力発信

● 地域活動やイベント等による本市農業のPR

⇒ 【成】むらづくり活動地域数 ：15地区

⇒ さつき＆花フェアの開催（5/24～6/1）

⇒ 農林業祭の開催（11/15）